２０１９年３月１９日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

日本の“はたらく”を、緑でデザインする。
「Green Work Style」
緑のある開放的な空間がもたらす効果を科学的に検証
日比谷パークフロントにおいて、実証実験を実施

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）は、植物（=緑）が持つ力を最大限に活用し、日本の新しい働き方をデザインするプロジェクトとして、「Green Work Style」（以下、「本プロジェクト」）をオフィスビル事業で推進しています。緑には、人にポジティブな影響を与えることが研究結果により明らかにされています。当社はその緑の力に着目し、効果的にオフィスに取り入れることで、理想的な働き方を実現するための「Green Action（緑の力をオフィスに取り入れるための５つのアクション）」を定め、その考え方を具現化したオフィスビルの開発･運営に取り組んでいます。

この度、本プロジェクトの第一弾として開発された「日比谷パークフロント」において、緑の効果を科学的に検証する実証実験（対象者は３０～４０代、男女のオフィスワーカー）を行い、緑のある開放的な空間がもたらす効果について検証しました。また、併せて入居テナントを対象にアンケートも実施しました。

その結果、開放感のある緑豊かな空間での休憩が、疲労感やストレスの低下をもたらすことや、緑が癒しを与える効果があることに加え、働く意欲やコミュニケーション向上に繋がることを確認しました。

働く場所の環境を整えることは、企業の生産性の向上につながると考えられます。当社は、今後も本プロジェクトを推進し、緑の力をオフィスに取り入れることで、ワーカーの精神的・身体的な健康の維持・促進に寄与してまいります。

■ 実証実験・入居者アンケートの概要

実証実験	
目的	植物のあるスペースで休憩することが、休憩後のストレスや知的生産性にどんな影響を与えるかの検証
内容	作業用タスク実施後、①「植物のあるスペース」または、②「植物のないスペース」で休憩する。休憩後にもう一度作業用タスクを行い、①と②で脳波測定から得られたストレス値や、作業用タスクの回答数や正答率、主観評価から、作業効率に与える影響に違いがみられるかを「ストレス度」「集中度」に注目して検証
対象者	３０～４０代、男女のオフィスワーカー
入居者アンケート	
目的	ビルに対する入居テナントの満足度調査
内容	緑のテーマとしたテナント交流イベントや、緑の効果、ビルのよさについて、ポイント評価と自由記述方式でアンケートを実施
対象者	日比谷パークフロントに入居中のオフィステナント

■ 実験結果　～緑のある開放的な空間がもたらす効果について、Green Action に基づいて検証～

Green Action 01

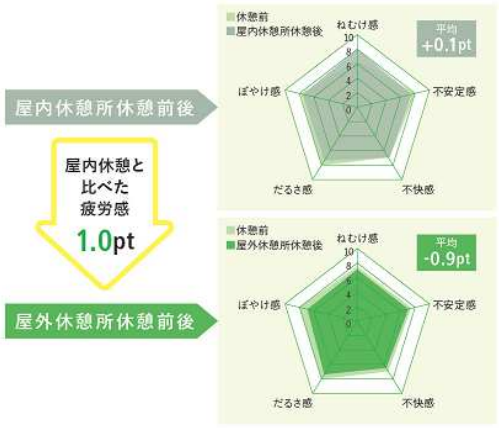
実証実験

はたらく人の健康を守る

緑のある休憩後の疲労感は、
屋内休憩と比べ 1.0 ポイント低い。

緑のある開放的な屋上テラスで休憩したほうが、
“ ねむけ ” をはじめとする
疲労感（自覚症状）が低下しました。

働き方改革とは、休み方改革であるとも考えられます。労働時間や休憩時間の長さという“量”の考え方以上に、緑のある休憩という“質”を取り入れることで、社員の肉体的な活力や健康は高まります。



Green Action 02

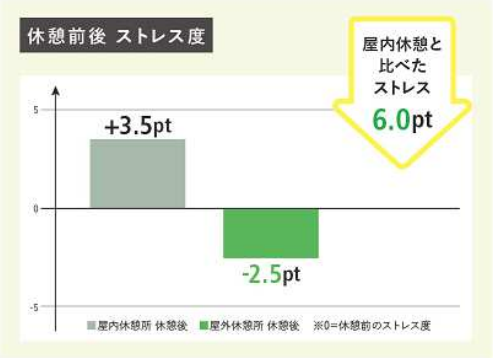
実証実験

はたらく人のストレスを軽減する

緑のある休憩後のストレスは、
屋内休憩と比べ 6.0 ポイント低い。

緑のある開放的な屋上テラスで休憩した後は、
ストレス度が低減しました。 疲労感の解消などと
あわせ、リフレッシュ効果が見られています。

仕事でのストレスは、パフォーマンスを低下させます。休憩中に緑のテラスを利用したり、業務中は、社内スペースに観葉植物を置くなどすることで、ミスの軽減と業務の精度向上が図れます。また、心の幸福度向上は離職率の軽減にもつながります。



※十分なリフレッシュが行われないと、継続する作業から頭を切り替えられず、ねむけやストレスを助長すると考えられる。

Green Action 03

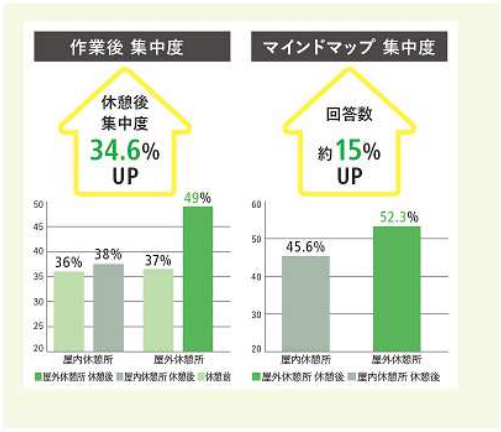
実証実験

はたらく人のひらめきを生み出す

集中度は 34.6% アップ。
屋内休憩と比べた回答数は 15% 高い。

緑のある開放的な屋上テラスで休憩した後は、
その後の集中度の上昇が高く、
作業生産性も高まる結果が出ました

集中力が高まることは、作業生産性が高まることです。殺風景な会議室でなく、共用テラスや緑を積極的に取り入れた社内スペースでのミーティングが、イノベーティブなひらめきを生み、業務のスピードや正確性向上にもつながります。



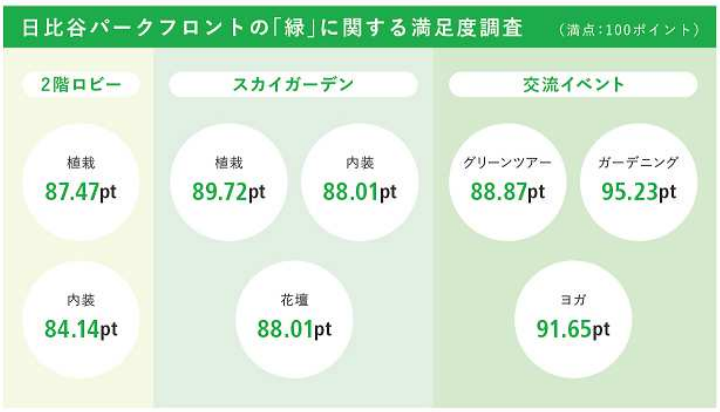
Green Action 04

入居者アンケート

はたらく人の絆を育てる

交流イベントでも、高い満足度を獲得。

日比谷パークフロントで行われた、
緑をテーマとしたテナント交流イベントは
参加者から高い評価を得られました。
特にガーデニングイベントの評価は95ポイントを超え、
参加したほぼ全員がかなり満足しているという
結果になっています。



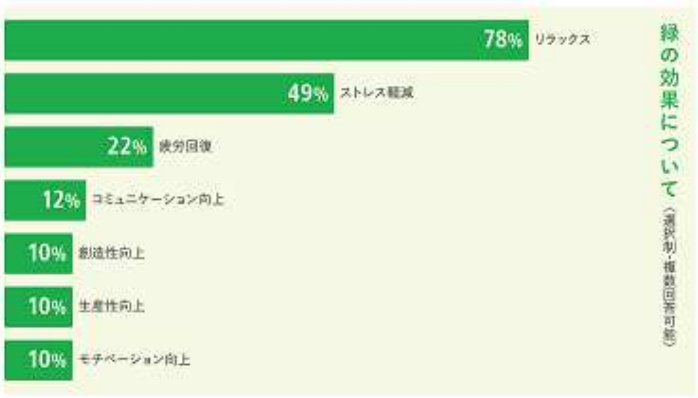
Green Action 05

入居者アンケート

はたらく人のモチベーションを高める

癒し効果に加え、働く意欲を高めてくれるとの声を得られた。

テナントに実施した「緑の効果・ビルのよさ」に関する
自由回答アンケートでは、
「都会なのに緑があふれている」
「リラックス、ヒーリング効果がある」という回答に加え、
「リフレッシュできる空間が多い」
「メリハリがあり、ON・OFFを楽しむことができる」といった
働く意欲を高めてくれる効果についての声もありました。



【Green Work Style ウェブサイト】 https://www.tokyu-land.co.jp/urban/bldg/gws







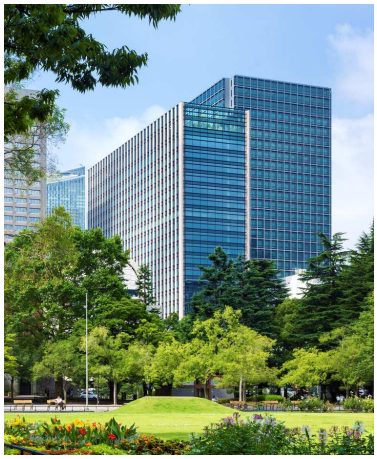
Green Actiom に基づく実証実験の様子

-本件に関する報道関係者お問い合わせ-
東急不動産株式会社 企画政策部 広報室 上林・平岡
TEL：03-5414-1349／FAX 番号：03-5414-1350／MAIL：tlc-hodo@tokyu-land.co.jp

【参考資料】

「日比谷パークフロント」物件概要

所　在　地：　東京都千代田区内幸町二丁目１番６号
交　　通：　東京メトロ千代田線ほか「霞ヶ関」駅 徒歩３分、
　　都営三田線「内幸町」駅 徒歩５分
敷地面積：　６，０８９．６１㎡
延床面積：　６７，１２３．８８㎡
構造・規模：　鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
　　地下４階地上２１階建
設計・施工：　鹿島建設株式会社
竣　　工：　２０１７年５月３１日



「Green Action（緑の力をオフィスに取り入れるための５つのアクション）」

Green Action 1：はたらくひとの健康を守る

出勤から退勤まで、オフィスのいたるところに緑を取り入れることで健康を維持・増進。

Green Action 2：はたらくひとのストレスを軽減する

レストルームなど、気持ちの切り替えのスペースに緑を取り入れることでストレスを解消。

Green Action 3：はたらくひとのひらめきを生み出す

ミーティングルームなど、思考力が求められるスペースに緑を取り入れることで創造性を引き出す。

Green Action 4：はたらくひとの絆を育てる

エントランスなど、人を迎え入れるスペースに緑を取り入れることでコミュニケーションを円滑に。

Green Action 5：はたらくひとのモチベーションを高める

仕事の合間のガーデニングや水遣りなど、緑と主体的に関わることにオフィス全体で取り組む。



日比谷パークフロント：
21階　入居者専用のスカイガーデン

日比谷パークフロントにおける Green Action

Green Action 1：はたらくひとの健康を守る

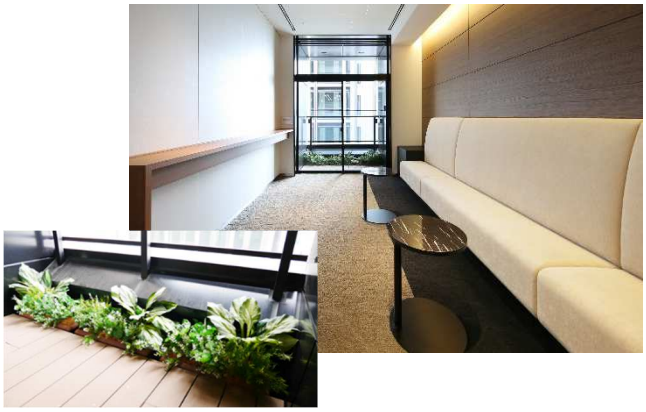
出勤から退勤まで、オフィスのいたるところに緑を取り入れることで健康を維持・増進。



2階グリーンラウンジの緑をまとったチェア

Green Action 2：はたらくひとのストレスを軽減する

レストルームなど、気持ちの切り替えのスペースに緑を取り入れることで、ストレスを解消。



各階に設けたリフレッシュコーナーは、窓を開放し
外気を取り入れられる。バルコニーには植栽を配置。

Green Action 3：はたらくひとのひらめきを生み出す

ミーティングルームなど、思考力が求められるスペースに緑を取り入れることで創造性を引き出す。



21階のスカイガーデンやスカイラウンジでは
緑を取り入れたミーティングゾーンを設置。

Green Action 4：はたらくひとの絆を育てる

エントランスなど、人を迎え入れるスペースに緑を取り入れることでコミュニケーションを円滑にする。



緑を取り入れたエントランスチェアや豊かな樹木で溢れる
2階オフィスロビー

Green Action 5：はたらくひとのモチベーションを高める

仕事の合間のガーデニングや水やりなど、緑と主体的に関わることで、オフィス内のコミュニティの形成を円滑にする。



入居者が自由に植樹できるスカイガーデンの花壇